



校長通信

令和5年度19号 令和5年10月10日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

10月に入って1週間あまり、ようやく秋らしい気候となって来ました。ある新聞では、生石高原（標高870m）のススキが風に吹かれて、黄金色の波のように揺れ、見頃を迎えていると記事がありました。またNHKニュースでは、有田川町の鷲ヶ峰（標高586m）のコスモスが美しく咲いている映像が流されていました。ススキ、コスモスといえば、秋の風物詩。なんとか見頃の間に、趣味の山登りを兼ねて、秋の風物詩を見に行き、秋を満喫したいと思っています。

更に、秋の風物詩といえば、秋祭り。新聞に御坊祭りがコロナ前と同じように、制限なしで盛大に開催されたと報道していました。私の住居近隣の須佐神社では、毎年、10月14日に千田祭が行われています。今年は、土曜日で休みなので、私も久々に参加して、神輿を担ごうと思っています。祭りのフィナーレに、高田浜で鯛投げ神事があります。これがとてもエキサイティング！餅まきもあります。屋台もたくさん出て楽しいです。みなさんも、時間があれば、ご家族そろって、千田まつりの見学におこしください。

《体育大会、盛り上りました！》

10月4日、体育大会を実施しました。お天気に恵まれ、グラウンドも最高のコンディションでした。開会式では、体育部長が選手宣誓で、阪神タイガーズの優勝より盛り上げると宣誓し、場の雰囲気を和らげてくれました。

身体を動かすのが得意な子、あまり得意ではない子、スポーツが好きな子、嫌いな子と生徒の個性は様々ですが、体育大会という学校行事を通して、仲間と協力し、自分の力を精一杯出すことにより、多くの感動と喜びを味わうことができます。



実は、午前の給水タイムで、ある生徒と私が次のようなやりとりがありました。その生徒をかりに、A君とします。A君は私に「校長先生、僕は身体を動かすことの意義がわからないです。体育大会が嫌いです。」と話しかけてくれました。私は、「身体を動かすことは、健康につながる。健康であれば、勉強でも、なんでも、やろうという前向きな気持ちになれる。だから、上手でなくても、速くなくても、自分のもてる力を精一杯出して、楽しく身体を動かそう！」と声をかけました。

その後、競技が再開されましたが、3年生の学年種目の「綱とり」で、仲間と協力し、必死に綱にしがみつき、自陣に綱を引っ張りこもうとするA君の姿がありました。とても、うれしかったです。

3年生の学級対抗リレーでは、さすが3年生。スピードはもちろんのこと、迫力のある走り、巧みなバトンパス、力の入った応援など、見ごたえがありました。クラブ対抗リレーも、各部の特色が出て、楽しかったです。特に、美術部は、走りながら、私の似顔絵を描いてくれました。また、この絵が私にそっくり。さすが美術部！今、校長室に大事に飾っています。

最後に、応援に来ていただいた保護者・地域の方々、ありがとうございました。
おつかれさまでした！